



さがの土地改良

2022.1
広報
Vol.193

佐賀県土地改良事業団体連合会
～水土里ネットさが～



CONTENTS

| | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 年頭挨拶..... 1 | 農業農村整備事業関係予算..... 8 |
| ◇佐賀県土地改良事業団体連合会会長 田島健一 | ◇「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021入選..... 9 |
| ◇佐賀県農林水産部副部長 島内利昭 | どかいれんの話題..... 10 |
| ◇全国土地改良事業団体連合会会長 二階俊博 | ◇佐賀豪雨災害被災地視察 |
| ◇全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問 進藤金日子 | ◇複式簿記導入促進特別研修会 |
| ◇全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問 宮崎雅夫 | ◇初冬キャベツの収穫体験! |
| 土地改良区役職員研修会..... 6 | ◇ブチ女子会でお仕事 |
| 第43回全国土地改良大会..... 6 | ◇ひとこと |
| 農業農村整備の集い..... 7 | お知らせ..... 13 |
| 佐賀県NN推進協議会要請活動..... 7 | ◇土地改良施設賠償保険 |
| 九州NN推進協議会・土地連九州協議会合同要請活動... 7 | ◇土地改良法律相談 |
| | ◇農地・農業用施設災害復旧支援 |
| | ◇土地改良区訪問 |
| | ◇高校生へ講話 |
| | ◇佐賀県農地・水多面的機能推進協議会 |
| | ◇非補助農業基盤整備資金 |
| | ◇連合会手帳 |



新年のご挨拶

佐賀県土地改良事業団体連合会
会長 田島 健一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族ともども健やかで希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。また、佐賀県土地改良事業団体連合会の運営につきましては、日頃から格別のご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、8月に発生しました前線に伴う記録的な豪雨によりまして、西日本から東日本の各地において甚大な被害が発生しました。改めて犠牲となられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。今後は、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

また、新型コロナウイルスの影響に伴う外食需要の落ち込みによる、米価の大幅な下落に加え、燃油の高騰など、皆様にも様々な影響があったことと察するところであります。

さて、令和4年度の国の農業農村整備関係予算に触れてみますと、当初予算の概算決定額4,468億円、これに令和3年度補正予算を加えると総額として6,300億円という予算となりました。

しかしながら、今後も事業の計画的な推進を図るためには、当初予算で必要額を確保していくことが重要であり、その適正な執行により本県農業農村の振興が図られると考えております。

近年、土地改良法が改正され、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めない農地整備事業等が創設されるとともに、土地改良区の運営基盤の強化を図る施策が講じられたところです。

これまで、会員のニーズに的確に応える様に、本県農業農村整備事業の推進役として尽力してきたところですが、皆様方の体制強化に対してもしっかりと支援していくこととしております。

本年も、会員の皆様と一丸となって「力強い佐賀の農業・農村づくり」をめざし、邁進したいと思いますので、なお一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

2年 いさつ



新年の御挨拶

佐賀県 農林水産部
副部長 島内 利 昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から農業・農村の振興に多大な御尽力をいただいておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

昨年は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、感染拡大の波が繰り返されてきた1年となりました。本県においては9月下旬より落ち着いた状況になっておりますが、いつも通りのお正月という訳にはいかず、気を緩めることができない日々が続いております。また、昨年の8月豪雨では、令和元年佐賀豪雨からわずか2年の間に、六角川流域をはじめ、同じような地域で内水氾濫が発生し、住宅等の浸水被害のほか、農畜産物や農業用施設・機械、農地や土地改良施設など甚大な被害をもたらしました。県としましては、一日も早い復旧・復興に向けて鋭意取り組んでいるところであります。

さて、国においては「新しい農村政策の在り方」が検討される中、農業農村整備事業関係予算は、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策やTPP対策等を含む令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を合わせ、本年度と同規模の予算が確保される見込みとなりました。

本県の農業振興においては、令和元年度から、園芸農業産出額を令和10年までに888億円に拡大することを目標に、「さが園芸888運動」を展開しており、生産者をはじめ、市町やJAなどの関係者と一丸となって取り組んでおります。高い目標を達成するには、担い手への農地の集約や園芸作物の生産拡大などに向けて、農業生産基盤整備を着実に進めていかなければなりません。一方、農業者の高齢化が進み、担い手が不足する地域では、農地や水路などの維持管理が難しくなっていることから、こうした地域の実情に合った効率的な整備へのニーズも出てきております。このため、それぞれの地域においては、園芸作物を生産拡大するための園芸団地の整備や、農地の排水不良や水路の老朽化といった現状を踏まえた暗渠排水の再整備や用水施設の統廃合など、今後の方針を盛り込んだ地域の農業ビジョンづくりに取り組まれています。県としても、今後、市町が中心となって策定される地域の農業ビジョンが実現できるよう、市町や土地改良区、JAなど関係者と一体となって、それぞれの地域の実情に合った農業生産基盤整備に取り組んでまいります。

また、近年は気候変動に伴い豪雨災害が激甚化、頻発化しており、安定的な農業生産を維持していくためにも、災害への備えとしてこれまでの延長ではない特別な考え方をもっておくことが必要と考えます。本県では、2年のうちに浸水被害が繰り返された六角川流域をはじめとする各地の内水氾濫について、昨年9月に内水対策プロジェクトチーム「プロジェクトI F」を立ち上げ、「人命等を守る」、「内水を貯める」、「内水を流す」対策の3つを柱として、国や市町等の関係機関と連携しながら県も一歩踏み込んで、できることから順次対策を進めております。例えば、内水を貯める対策として、クリークや農業用ダム、ため池などの事前放流を行うことで大雨時の貯水ポケットを確保する取組を進めるなど、今後も大雨に見舞われることを想定し、対策の効果が実感できるようしっかり取り組んでまいります。

最後になりましたが、昨年は様々な試練が課せられた1年となりましたが、引き続き佐賀県の農業農村整備の推進に尽力するとともに、今後とも、市町や土地改良区、農業者等、関係される方々の意見に十分耳を傾けながら、各種施策に取り組んでまいりますので、皆様方のなお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

会員の皆様方の益々の御発展と御多幸を祈念しまして年頭の挨拶といたします。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
会長 二階 俊博

令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、3つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体的な施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和4年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としましては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様へアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

2年 いさつ



新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会会長会議
顧問 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、佐賀県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しく願いいたします。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。佐賀県内にも度々訪問し、色々な指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

2022年 年頭あいさつ



新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会会長会議
顧問 宮崎 雅夫

佐賀県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様にご挨拶申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第2次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも偏に佐賀県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導をお願いいたします。

さて、ここ2年に亘り農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中で、昨年末に令和4年度当初予算案が閣議決定され、また、臨時国会で令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算では、前年度当初を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画化、水利施設等の老朽化対策や流域治水等を推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策として1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応え得る規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算に関連して、土地改良法の改正案を検討することとしており、主な事項としては、ため池等の急激な防災事業に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象に農業用水路等を追加すること、市町村や土地改良区が実施する防災対策事業へ土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる規定を設けることなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果が確実に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張って参る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を推進するため、進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、佐賀県の皆様のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

土地改良区役職員研修会開催



来賓挨拶する県農地整備課 江口課長



講義する進藤金子顧問



質問する土地改良区役員

土地改良区の資質向上を図ることを目的として、県内土地改良区の役職員へ向けた研修会を佐賀市内(メートプラザ佐賀)で開催しました。

佐賀県農地整備課江口課長の来賓挨拶では、「今後想定される人口減少の加速化及び農業者の高齢化を踏まえた農地・農業用施設の管理・更新について、AIなど先進技術の活用や施設の効率的な利用を見据えた統廃合を含め、これまでの整備や管理の在り方を大きく転換していく必要がある。」と述べられました。

研修会では、冒頭に進藤金子氏(全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問)による、農業を取り巻く状況や課題、農政の推進状況及び次年度の土地改良関係予算などについて講義され続いて、佐賀県農地整備課からは土地改良法を踏まえた土地改良区役員(理事・監事)の役割、また土地改良区が管理する農業用施設等の課題や今後のビジョンについて話されました。さらには、今後GISを活用した農業水利施設等の効率的な管理構想について進められ、また、農業生産法人「株式会社イケマコ」より、地域の将来を見据えた農業生産システムの確立について事例発表されました。

将来の農業農村の一端を担う土地改良区の強化を図りながら、これからの農業農村整備事業の在り方を考えていただく研修会となりました。

日 時 令和3年12月1日(水曜日) 13時30分～

場 所 メートプラザ佐賀「多目的ホール」

参加者数 137名

【演 題】

(1)「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」

(2)「土地改良区役員の役割について」

(3)「土地改良区体制強化について」

(4)「農業農村整備優良地区コンクール事例発表」

(5)「将来の農業・農村を担う土地改良区を目指して」

講師：全国土地改良事業団体連合会

講師：佐賀県農林水産部農地整備課

講師：佐賀県農林水産部農地整備課

講師：農業生産法人 株式会社イケマコ

～GISの活用による効率化～

講師：佐賀県農林水産部農地整備課

「第43回全国土地改良大会群馬大会」開催



全国土地改良事業団体連合会長表彰
馬場正幸氏(大詫間土地改良区理事長)



オンライン開催で挨拶する全土連二階会長
(水土里ネット群馬HP引用)



歓迎アトラクション(高崎頼政太鼓)

令和3年10月6日、第43回全国土地改良大会(全国水土里ネット・水土里ネット群馬主催、農林水産省・群馬県等が後援)が群馬県高崎市のGメッセ群馬で開催されました。本大会は新型コロナウイルスの影響により開催が1年間延期されていましたが、プログラムの一部と併催行事を中止し、規模を縮小してオンライン開催となりました。

式典において全国土地改良事業功績者表彰が行なわれ、本県からは永年にわたり土地改良事業の推進や地域農業の振興に貢献された功績が認められ、『農林水産省農村振興局長表彰』に秀島敏行氏(佐賀土地改良区理事長)、『全国土地改良事業団体連合会長表彰』に馬場正幸氏(大詫間土地改良区理事長)が受賞されました。表彰伝達式は令和3年10月21日に佐賀県土地改良会館において執り行われました。

第44回全国土地改良大会は、令和4年11月22日に沖縄県で開催される予定です。

「農業農村整備の集い」開催

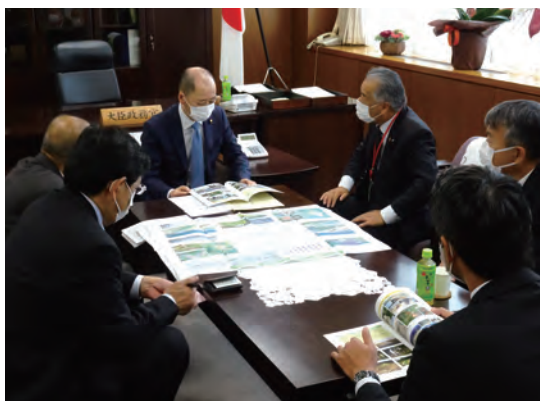


全国水土里ネット二階会長挨拶

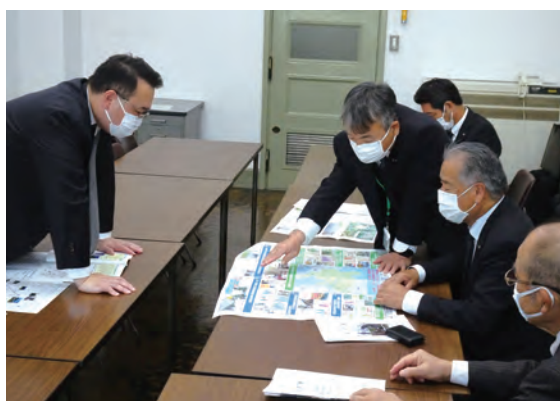
令和3年11月16日、東京都千代田区のシェンパッハ・サポアにおいて全国水土里ネット(二階俊博会長)主催による「農業農村整備の集い」が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、通常時の約半数での実施となりましたが、農業農村整備事業の推進と令和4年度当初予算の獲得等に向け、全国から農業農村整備関係者約580名が集い、金子原二郎農林水産大臣、宮崎雅夫政務官、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子参議院議員をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々が出席されました。

主催者の二階会長は、「進藤、宮崎両参議院議員の車の両輪体制のもと、農家の方々に期待を持って働ける環境をつくるため、一致団結して闘っていかねばならない。」と力強く挨拶され、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践された2名(故 藤井チエ子山口県土連理事、奥村千扶子大島堰土地改良区理事長)が表彰されるなど盛会のうちに終了しました。

佐賀県農業農村整備事業推進協議会が要請活動を実施



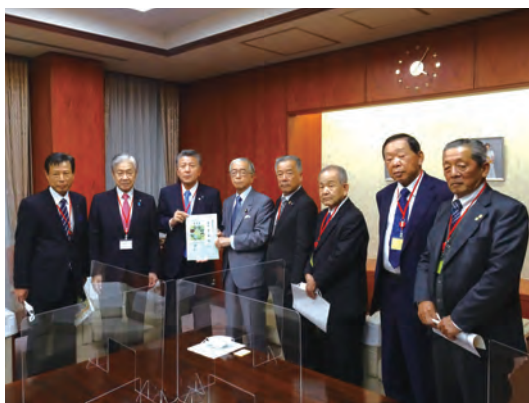
宮崎雅夫農水大臣政務官へ説明



財務省へ説明

令和3年11月15～16日、佐賀県農業農村整備事業推進協議会(江里口秀次会長)が関係国会議員、農林水産省、財務省へ佐賀県の農業農村の現状を説明し、地域の要望に十分応えられる令和4年度予算の確保や、農地、農業水利施設の管理レベルの最適化(施設の効率化、統廃合による再編)等について要請活動を実施しました。

九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会が要請活動を実施



金子原二郎農水大臣へ要望書を手交



金子恭之総務大臣へ要望書を手交

令和3年12月2～3日、九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会合同で関係国会議員及び農林水産省、財務省、総務省、自民党本部へ要請活動を実施しました。本会の田島健一会長(白石町長)を含む九州各県代表者が出席し、九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進について、金子原二郎農林水産大臣、宮崎雅夫政務官、金子恭之総務大臣、梶山弘志幹事長代行などに面談し要望書を手交しました。

農業農村整備事業関係予算 概算決定

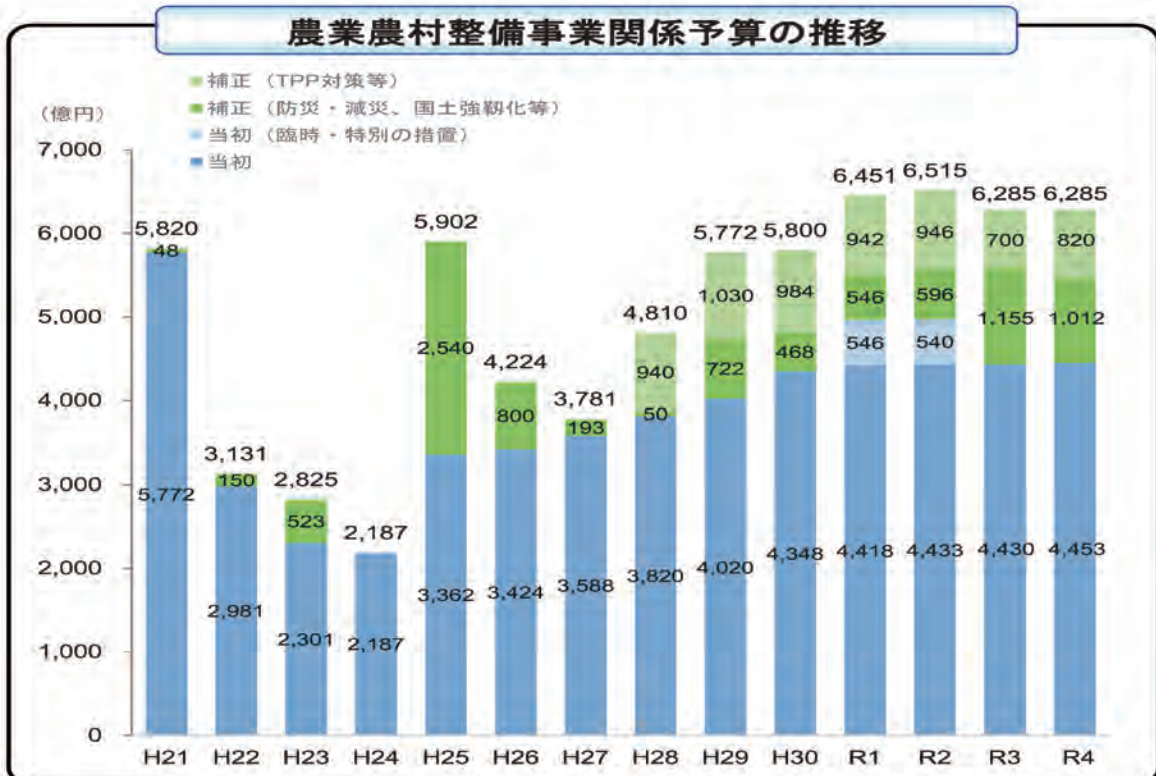
農業農村整備事業関係の令和4年度当初予算4,453億円（対前年比100.5%）が示されました。また、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、TPP対策及び米の臨時特別対策として、令和3年度補正予算1,832億円が計上され、これらの総額は6,285億円となりました。このほか、政府情報システム予算の農業農村整備事業関係予算15億円が概算決定となりました。

（農林水産省資料より引用）

| 令和4年度予算等概算決定 | | | | |
|--|---------------|--------------------|--------------------|-----------|
| （単位：億円） | | | | |
| | 令和3年度 当初予算 | 令和4年度 当初予算 A | 令和3年度 補正予算 B | 合計 A+B |
| 農業農村整備事業(公共) | 3,317 | 3,322 (100.1%) | 1,832 | 5,154 |
| 農業農村整備関連事業(非公共) 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金〕 | 518 | 540 (104.3%) | － | 540 |
| 農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分) | 595 | 591 (99.5%) | － | 591 |
| 計 | 4,430 | 4,453 (100.5%) | 1,832 | 6,285 |

注1：R3及びR4には、別途、政府情報システム予算15億円がある。

注2：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。





「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021入賞作品決定!



「新発見!わたしたちのふるさと自慢!」をテーマに全国の小学生以下から募集された当絵画展(主催:全国水土里ネット)の入賞作品が決定しました。昨年に引き続きコロナの影響を受け、屋外での描写ができない状況での募集となりましたが、全国から4,120点(佐賀県120点)と沢山の応募がありました。

また、4120点の応募の中から「入賞33点」「地域団体賞45点」「入選150点」が決定し、2021年12月4日(土)~11(土)の期間、東京都美術館で展示されました。

力強く、創造力豊かな子どもたちが描く“ふるさと自慢”の入選作品をご紹介します。



【入選】
谷口 陽咲さん(佐賀市立春日北小学校 3年)



【入選】
森永 美紀さん(小城市立晴田小学校 5年)



【入選】
梶山 水斗さん(鹿島市立古枝小学校 5年)



【入選】
中村 結愛さん(鹿島市立古枝小学校 5年)



【入選】
西山 舞依さん(鹿島市立古枝小学校 5年)



【入選】
峰松 つぐみさん(鹿島市立古枝小学校 5年)

どかいねんの話題

令和3年8月佐賀豪雨災害被災地を 進藤かねひこ参議院議員が視察

令和3年10月2日、進藤かねひこ参議院議員が8月に佐賀県を襲った佐賀豪雨災害被災地を視察され、本会の田島健一会長(白石町長)が同行されました。近年、頻発して災害が発生している状況であり、進藤議員は、佐賀県及び関係市町の首長や土地改良区役員から説明を受け、「農地や土地改良施設の早期復旧復興と被災者が1日でも早く元の生活の戻れるよう最大限の努力をする」と述べられました。



大町町の視察状況



嬉野市の視察状況

| 視察地 | 主な対応者 [各地概要説明: 県農林水産部 島内副部长] |
|---------------------------|--|
| 神埼市(千代田排水機場、出来島排水樋門、三谷地区) | 神埼市 松本市長、松永理事、一番ヶ瀬農林水産課長、ほか 佐賀東部土地改良区 志岐理事長、古田局長、ほか |
| 嬉野市(陣野地区、内野山地区) | 嬉野市 村上市長、井上建設部長、馬場農林整備課長、ほか |
| 大町町(下瀧排水機場) | 大町町 水川町長、高田農林建設課長、ほか 大町土地改良区 岩淵理事長、鵜池副理事長、福田理事、ほか |

令和3年8月豪雨に伴う災害復旧支援

令和3年8月の豪雨により、県内の農地や土地改良施設等は甚大な被害を受け、災害査定へ向けた現地測量をはじめ査定設計書作成など、一刻も早い復旧へ対応するため佐賀県と本連合会の合同チームによる市町の支援を行いました。

『嬉野市災害業務を経験して』

佐賀県土地改良事業団体連合会農村整備2課 技師補 山田 泰大

嬉野市の災害業務では、復旧工事に向けた査定設計書の作成、それに伴う現地測量等を行いました。実際の災害現場を見て小規模な災害から大規模災害まで、どれも農家の方々にとって必要不可欠なものであると感じ、一刻も早い復旧へつなげたいとの思いから業務に携わりました。災害業務で得た経験を、今後の業務に生かしたいと思えます。



山田技師補(左)

『嬉野市災害支援に携わって』

佐賀県庁農山漁村課 技師 長尾千尋

嬉野市では農地の復旧工事に向けた現地測量を行いました。これまで現場測量の経験がなく、とても不安でしたが、連合会の皆さんに測量の手順を一から教えていただいたおかげで、少しでもお役に立つことができたと思います。嬉野市をはじめする佐賀県各市町の一刻も早い復旧を祈ると同時に、連合会の皆さんに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



長尾技師(左)

複式簿記導入促進特別研修会を開催

令和3年10月19日、全国水土里ネット主催による「令和3年度複式簿記導入促進特別研修会」が開催されました。新型コロナウイルス感染防止に伴い、全国水土里ネットとWeb形式での開催となりましたが、県内土地改良区同士の情報交換や会計指導員による相談・助言も行うことから、佐賀県では佐賀市内(グランデはがくれ)において46名が集まり受講しました。令和4年度から複式簿記を本格稼働する土地改良区は、開始貸借対照表や財務諸表等の作成手順等を熱心に視聴されていました。



Web形式での研修会を受講する様子

どかいねんの話題

土地改良区訪問

人口減少の加速に伴い、農家の高齢化及び農業の担い手不足等により農地・農業用施設の維持管理が困難となることが予測され、これに対応していくために地域農業の発展はもとより、土地改良区の体制強化が重要となります。このことから、佐賀県農地整備課による県内土地改良区の訪問へ本連合会職員も2巡目(令和3年12月2日)から同行し、意見交換を行いました。

土地改良区の理事長からは、「農地や土地改良施設等の健全な管理は、これからの農業経営に掛かっている」との意見が多く聞かれ、今後も関係機関との連携の強化を再確認しました。



意見交換会の様子(鹿島市多良岳土地改良区)

初冬キャベツの収穫体験に参加!

嬉野市塩田町の「農事組合法人アグリ三新」が栽培・収穫されている初冬キャベツの収穫体験へ、本連合会の職員3名(うち女性2名)が参加しました。

澄み切った青空の令和3年12月9日収穫日当日は、アグリ三新リーダーから作業概要について説明を受けた後、収穫方法について優しく手ほどきを受けました。「キャベツの球を手で横方向へ押し倒しながら株元の芯を包丁で切る。」至ってシンプルな作業に見えたものの思うようにはいかず…。これまで精魂を込めて栽培されたキャベツに一刀入れることへの緊張感。また、15時のお茶タイムでは皆さん揃って収穫用コンテナへ座り、80代と20代の会話が弾んでいる微笑ましい光景が印象に残りました。

今後も引き続き“農業土木”という分野から農家を支えていくうえで、今回の貴重な体験によって、より一層深みのある技術者へと成長してくれることを願っています。



収穫したキャベツを運ぶ石瀧技師補



休憩でお茶菓子を囲み会話が弾む様子

高校生へ講話をしました

令和3年12月22日、高志館高等学校(佐賀市大和町)の1、2年生へ「卒業生による講話」として、当校OBの本会職員2名が「現在携わっている業務」や「高校時代に取り組んでいた方が良かったこと」などについて話しました。特に2年生は来年からの進路選択へ向けて興味深く聞き入っており、本会職員も分かりやすく説明することの難しさを改めて体感する良い機会になりました。



高校生へ説明する2名の本会職員

プチ女子会でお仕事頑張っています!

令和4事業年度から貸借対照表の作成・公表が義務化されることを前に、令和3年12月27日に「大町土地改良区、川登土地改良区、塩田東部土地改良区」の担当職員合同による勉強会を開催し、本連合会の会計指導員が親身になって助言等を行いました。3つの土地改良区が合同での開催となったことで、複式簿記導入へ対する不安や疑問点などについて共感することができ、今後は担当職員同士の連帯感をもって頑張れるといった、コミュニケーションの時間にもなりました。



勉強会の様子(塩田東部土地改良区)



『佐賀県農地・水多面的機能推進協議会』 『防草シート施工講習会』を開催しました!

多面的機能支社活動による雑草対策の一環として、「防草シート施工」の講習会を江北町で開催しました。コロナ禍により人数制限を設け、町内16の活動組織から延べ45人の参加がありました。

講習会では防草シートの役割等について説明された後に、道路法面及び水路法面へ実際の施工を実習して頂き参加者からは、「思っていたより施工が簡単だった」「これから検討したい」といった声が聞かれました。

- 【開催日】 令和3年12月2日(木)
- 【第1部】 10時00分 花山球場周辺(参加者20名)
- 【第2部】 13時30分 鳴江河畔公園周辺(参加者25名)
- 【内容】(1)防草シートの役割について
(2)防草シートの施工方法について
(3)その他

防草シートを施工する参加者



『田んぼダム』への取組みを推進

近年の集中豪雨により浸水被害が各地で発生しています。これらの被害を少しでも軽減しようと、佐賀県では田んぼダムの取組みを推進しています。

田んぼの排水口へ切り欠きの調整板(せき板)を設置し、水路や河川への水の流出を抑制することで、田んぼが一時的なダムの役割を果たし洪水被害を軽減することが期待されています。

これらの取組みに際しては、農家のご理解とご協力が必要不可欠で



ルーラル電子図書館HPより引用

あり、一方では地域住民が少しでも安全で安心な暮らしができるように、啓発普及へのご協力をよろしくお願い致します。

大雨から地域を守ろう!

県民みんなで浸水被害を防ぎましょう
～田んぼダムの実施に協力をお願いします～

- 近年、集中豪雨が頻発
- 4年連続大雨特別警報発令
- 豪雨の度に各地で浸水被害発生

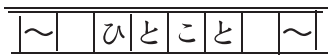
田んぼダムとは
田んぼの排水口に切り欠きを開けた調整板を設置し、大雨時の水の流出を抑制することで、田んぼがダムの役割を果たします。

田んぼダムの効果
多くの地域で田んぼダムに取り組むことで、水路や河川の水位上昇を緩和し、下流域の洪水被害を軽減する効果があります。

調整板(堰板)の設置方法

田んぼダムの実施にあたって

- 多面的機能支社交付金に取組む地域においては、活動組織の資源向上(共同)の田において、1/2以上の面積で田んぼダムに取組む場合は、加算措置(300円/10a)が受けられます。
- 堰板の設置、及び管理に御協力をお願いします。



「農業集落排水施設」に関心を持ってほしい!



污水処理施設で硫化水素濃度を測定(白石町須古地区)

佐賀県土地改良事業団体連合会
農村整備2課 古川 秀一

本課では、主に農業集落排水(農村下水道)に係る業務に携わっており、機能強化対策事業(中継ポンプ、污水处理施設の機器の更新等)の一環として、管路施設・污水处理施設等の現地調査も実施しています。

污水处理施設は「汚い」「怖い」「危険」などの悪いイメージがありますが、農村地域の生活環境の維持・発展に欠かせない重要な施設です。左の写真は汚泥貯留槽の硫化水素濃度を測定しています。専門的な言葉で言うと「活性汚泥(かっせいおでい)」になります。この活性汚泥ですが、個人的には臭い匂いではなく、いい匂いを感じる私は職業病でしょうか…。

お知らせ

土地改良施設賠償保険のご案内

| 施設種別 | 保険料 |
|--------|---------|
| 農道 | 60円/km |
| 用排水路 | 60円/km |
| 溜池・貯水槽 | 250円/箇所 |
| パイプライン | 600円/km |

<問合せ先>
 会員支援課(0952)24-6474

市町・土地改良区が所有または管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスなどに起因する事故で、他人へ傷害を与えたり財物を損傷させた場合など、法律上の損害賠償責任を負う場合に対し保険金をお支払いするものです。

連合会手帳

主な行事(令和4年1月~3月)

| | 内 容 | 開催地 |
|-------|--------------------------|------|
| 1月17日 | 佐賀県土地改良事業団体連合会 理事会 | 佐賀市 |
| 2月上旬 | 佐賀県土地改良事業団体連合会 総会議案地区説明会 | 佐賀市 |
| 2月上旬 | 佐賀県土地改良事業団体連合会 総会議案地区説明会 | 伊万里市 |
| 2月16日 | 佐賀県土地改良事業団体連合会 第64回通常総会 | 佐賀市 |
| 3月24日 | 全国土地改良事業団体連合会 第64回通常総会 | 東京都 |

非補助農業基盤整備資金をご活用ください

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助事業でない事業(県又は市町単独補助事業)についても融資の対象となります。

~融資用途の例~

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分(トイレ、浴室、洗面所の改修)
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、土地改良区事務所の建設や事務機等の購入費用など

| | |
|---------|--------------------|
| 利率(非補助) | 0.30%(固定金利) |
| 償還期間 | 25年以内(うち措置期間10年以内) |
| 貸付限度額 | 地元負担額(最低額50万円) |

(令和3年12月20日時点)

<問合せ先>
 会員支援課(0952)24-6474



土地改良法律相談で問題解決の糸口を!

土地改良事業(土地改良法)に関する諸問題へ本会の顧問弁護士が、法律的な観点から問題解決へと努めています。相談費用は本会が負担しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

~これまでのおもな相談内容例~

- 賦課金滞納処分に関するご相談
- 過去の換地処分等に関するご相談
- 土地改良事業を円滑に遂行するためのご相談

<問合せ先> 会員支援課(0952)24-6474



広報『さかの土地改良』2022.1 Vol.193
 発行 佐賀県土地改良事業団体連合会
 編集 総務部 会員支援課
 〒840-0811 佐賀県佐賀市大財三丁目8番15号
 ☎ (0952) 24-6474(直通)
 ✉ kaiin@midorinet-saga.jp



表紙写真:『中秋の散歩道』(小城市江里山の棚田) 撮影者:下平 諒(水土里ネットさが 水土里レポーター)
 標高250mの天山山中腹に位置する小城市江里山集落には、先人たちが築き上げた約600枚を数える棚田が広がり、石積を目の前にするとその圧倒される迫力や壮大な風景を見る事ができ、農家をはじめ地域住民の努力の結晶が垣間見えます。

編集後記

日本では、最近年中食べられる食材が多く“旬”が分からなくなりがちです。本誌で紹介した収穫体験のキャベツは、どちらかと言えば春キャベツが有名ですが、11月から2月頃まで出回る“冬キャベツ”も寒玉キャベツと言われ、肉厚の葉と葉の間がギュッと詰まりビタミンやカルシウムなどの栄養素に優れています。美味しい冬キャベツの選び方は、①ずっしりとした重みがあるか持ち上げる(重みがあるものほど、葉がぎゅっと詰まっています)。②底面芯のカット部分を見て、黒ずんでいないきれいなものを選ぶ(新鮮な証拠です)。ただし、ベタベタと何個も触れない“事情”もあるので、くれぐれも選び過ぎにはご注意ください。(M)